



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！ になれるところ

海からの風雪に耐えて耐えて

220年

2階部にある梵鐘



「境内総合整備計画」の第1弾

鐘楼堂の屋根瓦に防護ネットを設置

「瓦が落ちていきますよ」

この一報に慌てて現場に駆けつけると、落下した瓦と今にも落ちてきそうな瓦を数枚確認致しました。一七九一年（寛政三）に、越後国の大工によって建てられたとされる鐘楼堂。御影永きに亘り、法要や、御影道中が吉崎別院にお着きになる刻を近隣ご門徒衆に報告せよとされました。しかし、北陸冬の厳しい風雪と日本海からの潮風とによる老朽化と塩害のため、随所に損傷が広がっていたのです。この度は、毎日訪れる参詣者と、特に夏休みを利用した別院に宿泊をする子供たちの安全を確保するため、落下防護ネットを緊急に設置しました。今後は、瓦の葺き替え工事に向けて注力しつつ、たくさんの方々の方々に現状を知って頂く方途を考えています。

相次ぐ声、来春の御忌法要までにご修復を



「鐘楼堂ご修復工事特別会計」を設置

過日開会された院議会にて、本格的に鐘楼堂をご修復致すべく、財政確保のための特別会計設置が承認されました。今後は、全国の縁あるたくさんの方々にご募財へのご理解とご協力を賜るべく、懇切丁寧をお願いをしていく所存でございます。